

真宗研究 第五十二輯 目次

『浄土論註』における五念門の考察……………大谷派塚寄拓也(一)

性起と修起——真佛土と佛性の一考察……………大谷派井上重信(二)

法然とその門下における

「専修・雑修」理解……………本願寺派那須一雄(四)

——特に隆寛・証空・静遍について——

真宗の宗教生活と世俗——その多様性——……………京都女子大学野村伸夫(三)

『歎異抄』と覚如教学……………龍谷大学林智康(八〇)

『往生伝』と『妙好人伝』について……………本願寺派菊藤明道(九)

——新出史料『遺身往生伝』の発見を契機として——

瀬戸内海地域における真宗の伝播……………大谷大学大畑博嗣(二〇)

——周防・長門国を事例として——

戦国期真宗僧の歴史認識……………同朋大学安藤弥(二五)

——『山科御坊事并其時代事』から『本願寺作法之次第』へ——

新発見の古写本

『三河念仏相承日記』について……………高田派 安藤 章 仁 (一七三)

承元の法難考……………本願寺派 今 田 法 雄 (一九三)

——起因と宗祖遠流の背景について——

総戦力下の神仏問題と本願寺派「宗制」……………龍谷大学 赤 松 徹 真 (二〇四)

親鸞思想と日本海……………古 田 武 彦 (二三五)

△記念講演▽

「呼应としての御遠忌史」……………大谷大学名誉教授 大 桑 齊 (二五五)

学会彙報……………(二九〇)